

二次元コードを用いた食材食品製造履歴管理システム

概要

展示会招待客へ、会社名、住所、所属等の情報をエンコードした二次元コード付き入場者証を事前に送付する事により、ゲートやブースで読み取りながらデータ構築が出来るシステムを実現した。これにより、展示会終了後に膨大なデータ入力を行う必要がなくなり、来場者リストの集計が迅速化した。

主なメリット

招待者は事前に個人データを二次元コード(PDF417)にした入場証をもっている事で待たずに入場登録をする事が出来る。オペレータは二次元コードを読み取るだけのシンプルな作業のため教育が不要となり、読取方向には制限がないイメージ式リーダーの採用により迅速な処理を実現している。出展社は二次元コードを読み取る事でリアルタイムにデータベースを構築できるため、データ収集の遅れからビジネスチャンスを逃す事が無くなった。また、これらデータは Excel 等の表計算ソフトや、Access、Approach 等のデータベースソフトに保存出来るため、担当者の振り分けやダイレクトメール用の宛名ラベルの作成等、自由に使用する事が出来る。しかも、データベースの毎年の更新にも有用となる。